



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にのみお送りしています

第 8 号 (2010 年 7 月 28 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室



連日 35 度を超す暑い日が続くなか、学生は前期試験の真っ最中です。
法学部だより第 8 号をお届けします。

今回は、憲法担当の中富先生をご紹介します。卒業生からのメッセージは共に 2007 年度の卒業生で、米国時事通信勤務の中本聖子さん、起業して活躍している内海太郎さんのお二人にお願いしました。

目次

- 法学部教員紹介
- 卒業生からのメッセージ（第 4 回、第 5 回）
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 法学部教員紹介

☆ 中富 公一（なかとみ こういち）教授

憲法を担当している中富です。今年度は、後期から憲法Ⅰを、来年度は憲法Ⅱを担当する予定なので、現在1年生の学生諸君とは持ち上がりでおつきあいすることになると思います。最近、実定法の先生方の成績評価が厳しいことが話題になっていますが、私自身は仏の中富でいたいと思っています。法学部があまりにロースクールの予備校化するのはいかがなものかと思っています。しかし、それでも答案をみるとガッカリすることも多いのです。法学部では、概念を組み立てて論理を作る技を身につけることが期待されているということを忘れないで下さい。

私がかつて勉強していたフォルストホッフというドイツの公法学者は、「対象を概念化することがないならば、その者は、自己を対象に譲り渡しているのである」と述べていました。法学という学問は、概念化することによって対象を自己化し、それを組み替えることによって対象を変革する学問です。

ベルリンのフンボルト大学の正面階段の踊り場には、マルクスの、「哲学者たちは世界を単にさまざまに解釈しただけである。問題なのは世界を変えることなのである」との言葉が刻んであります。この言葉を短絡的に受け止め、運動こそが重要だと受け取る人もいます。しかし、法学者たちは、概念を精査し、それを組み替えて世界を変えてきているのです。エンジニアがねじを締め忘れたら機械が壊れるように、概念が歪んでいると世界が作れません。アメリカなどで政治家に法律家が多いのも、法律を知っているからというより、概念の扱い方を知っているからだと思います。そのことを法学部の4年間で実感していただければと思います。

紹介が遅れましたが、私は大学が法人化すると決まった頃から、組合運動をしながら大学の自治について考えています。今度、職員組合で『学長との対話（仮題）』を出す予定です。全国の大学のなかでの岡山大学がどういう大学なのかイメージ出来ると思います。岡山大学にも興味をもっていただければ幸いです。また、「イジメ」についても勉強しており、この夏休みに「イジメ」について本を書こうと思っています。皆さんと議論出来る時を楽しみにしています。

○ 卒業生からのメッセージ（第4回）

はじめまして、岡山大学法学部 2007 年度卒業生、中本聖子と申します。私は、現在、米国時事通信社ニューヨーク総局にて、リサーチャーとして仕事をしています。

大学では国際法ゼミに所属し、卒業後は米国東海岸にあるシートン・ホー大学大学院で外交・国際関係学を学びました。児童の人権、特にアフリカにおける児童労働問題を専門とし、国籍も価値観も異なるクラスメイトとの討論、極度の緊張で毎回震えたプレゼンテーションは、今となっては良い思い出です。また、日本政府国連代表部（国際法担当）でインターンをし、実際に国連の会議に参加できたことも、留学の魅力のひとつでした。

米国時事通信社に就職後は、米国内外で活躍する各界の専門家を招いた日系企業向けの勉強会、そして国連担当記者のアシスタントを主にしています。大都市であるニューヨークで、世界の動きに敏感でいられること、世界を舞台に活躍する皆さんと交流できることに、この仕事の大きな魅力を感じています。

また、将来は児童の人権改善に携わることを目標としています。現在、その第一段階として、大学院時代の友人達と NGO を設立し、セネガルのストリートチルドレンを対象にした援助活動準備を始めています。最後になりましたが、私と国際法ゼミとの出会いのように、いかなる出会いや経験が、将来の夢に繋がるかは分かりません。学生の皆様も、ひとつひとつの出会いを大切に、自分の夢に向かって頑張ってください。

中本聖子
米国時事通信社ニューヨーク総局

○ 卒業生からのメッセージ（第 5 回）

2007 年度卒業の内海と申します。私は岡山大学法学部卒業後、岡山にて同じく岡大経済学部卒の西尾とともに、株式会社クレオファー (<http://creofuga.jp/>) という会社をやっています。会社設立は 2007 年 10 月で、4 回生の時になります。今年で 3 年目になります。

事業内容としてはインターネット上でアマチュア向けの音楽投稿サイト (<http://creofuga.net/>) の運営と HP 制作やシステムの受託開発業務になります。税務や労務の複雑な部分は、各方面の先生にお任せしていますが、日常の契約や、著作権まわりの事については自身で行なっています。インターネットで音楽と聞くと、著作権と連想されやすいので、音楽著作権について勉強をしながら

ら、関係者へ十分な配慮を心がけています。岡大では、法学の専門的な知識を教わったのはもちろんですが、論理的な物の考え方などたくさんを学びました。最近、たまにメディアにも取り上げていただいたりしておりますので、名前をお見かけされた際には何卒よろしくお願ひします。

内海太郎

株式会社クレオファーガ 取締役副社長

○ 法学部からのお知らせ

☆岡大法学部オープンキャンパスのご案内

岡大法学部では、以下の要領で恒例のオープンキャンパスを実施し、高校生とそのご父兄を対象とした説明会を行います。高校生の皆さんは、この機会にぜひ法学部に足を運んでみて下さい。あなたの知らない法学部の魅力が必ず発見できます！

日時：8月7日（土）13：30～15：30

場所：文法経 26 番講義室

内容：学部長挨拶、概要説明（入試、教務、学生生活等について）、在学生による学部紹介、教員・学生との歓談会

以下の全学のパンフレットも併せてご参照下さい。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/st/nyushika/pdf/opencampus2010.pdf>

○ 最近の話題

☆平成 22 年度法文経同窓会 津山支部総会に出席しました。

7月23日（金）午後6時半から津山国際ホテルで今年度の法文経同窓会津山支部総会が開催されました。当日は法学部長の佐野と荒木信之同窓会副会長（法18期）が来賓として招かれ出席しました。開会后、物故者の方々へ黙禱を捧げ

た後、徳田忠子支部長（文 17 期）、荒木副会長のご挨拶に続き、大学側の代表として佐野から最近の法文経の状況につき簡単な紹介をしました。当日の出席者は 21 名でしたが、津山市役所の皆さんを中心に、今年採用されたばかりの新人も参加し、和気藹々とした懇親の機会を持つことができました。皆さんと斉唱した学生歌のように、いつまでも「おお岡大われらのもの」の思いを守っていきたいと思います。

（法学部長 佐野寛）

☆法学会講演会の開催の様子

7 月 6 日に窪田充見神戸大学教授を講師に迎えて開催された法学会講演会「現代家族法の問題と将来的展望—最近の親子関係をめぐるトピックから—」の写真が法学部ホームページにアップされました。

http://www.law.okayama-u.ac.jp/student/lecture/contents/1279241667/view_html

☆ 法学部ホームページに「東京サテライトオフィス」のページを公開しました

<http://www.law.okayama-u.ac.jp/license/sateliteoffice/>

.....

・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月 2 回程度配信されています。

・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。

岡山大学法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

・本メールマガジンには返信なさないようにお願いします。

・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を希望される場合には、以下の URL からご登録・解除ください。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会

joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。

.....

